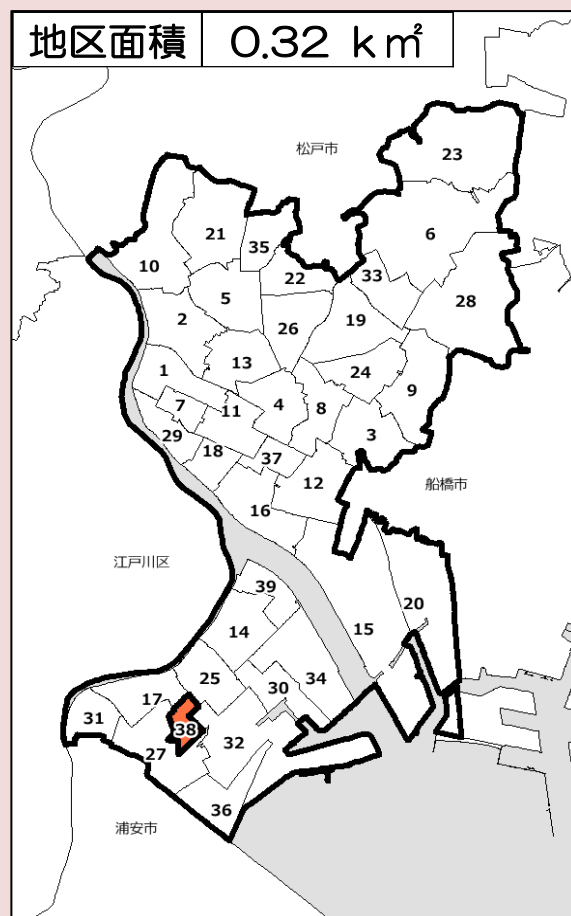


# 38 福栄小学校区

## (1) 位置



## (2) 地区概況

### ◆位置

福栄小学校区は、市の南西部に位置しています。

### ◆地形・土地利用

地形は、氾濫平野で構成されています。  
地区内は、主に第二種中高層住居専用地域の住宅地となっており、マンション等が多く建ち並んでいます。

### ◆都市基盤

地区内の南側の一部を除いて、土地区画整理事業により整備されています。  
また、地区の北側には東京メトロ東西線が通っており、地区内には東西線行徳駅行きの京成トランジットバスや市川市コミュニティバスが通っています。

## (3) 人口・建物概況

### ◆人口

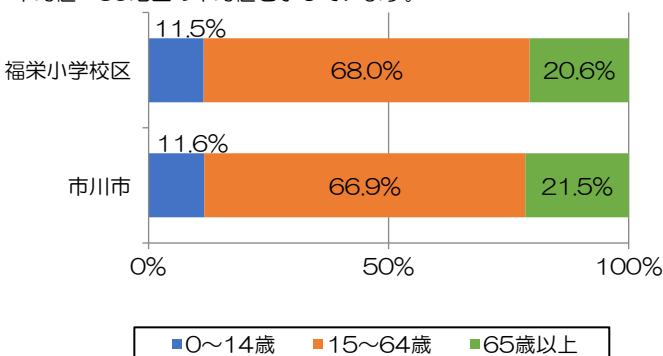
#### 年齢別割合

|      | 福栄小学校区 | 市川市      | 割合※  |
|------|--------|----------|------|
| 人口総数 | 8,333人 | 492,564人 | 1.7% |

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値 12,630人

平均値：39地区の平均値を示しています。



### ◆建物

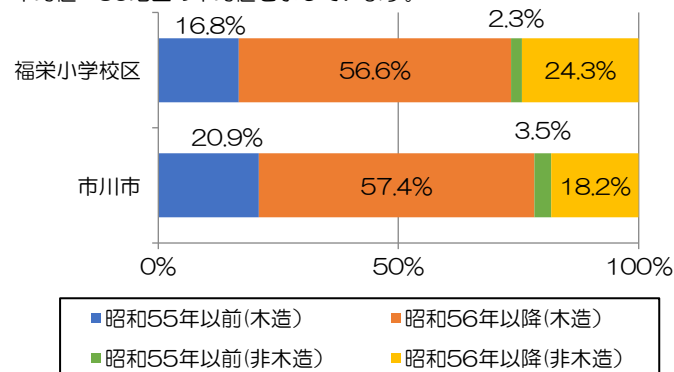
#### 構造別割合

|      | 福栄小学校区  | 市川市       | 割合※  |
|------|---------|-----------|------|
| 建物総数 | 1,015 棟 | 107,267 棟 | 0.9% |

※割合：市全体の総数に対する地区総数の割合

平均値 2,750棟

平均値：39地区の平均値を示しています。



地区の人口は、全地区の平均人口より少ないです。市全体と比較すると15～64歳の割合がやや高く、現役世代がやや多い地区となっています。

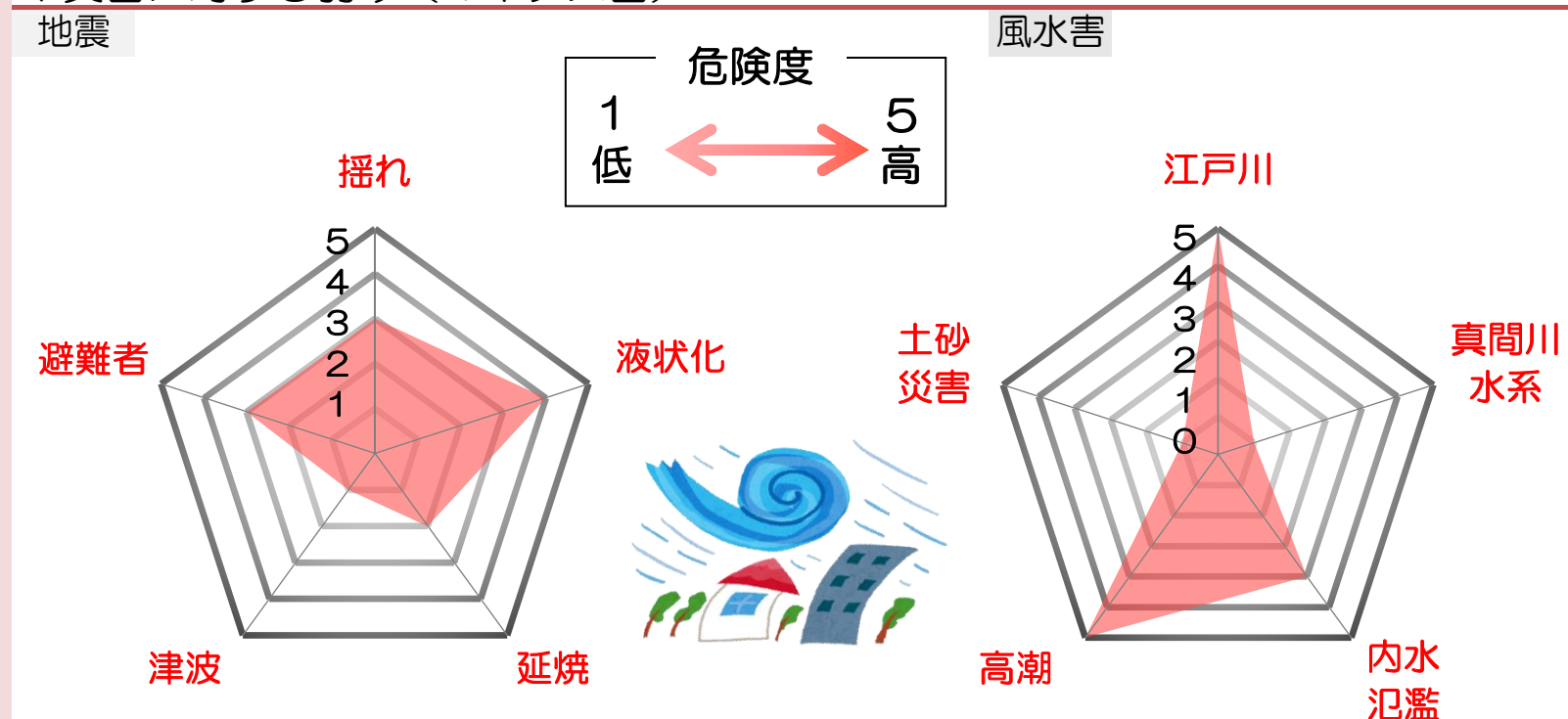
地区の建物は平均より少ないです。市全体と比較すると昭和56年以降の新耐震基準の建物割合が高いです。また、非木造建物がやや多い地区となっています。

## (4) 災害リスク評価

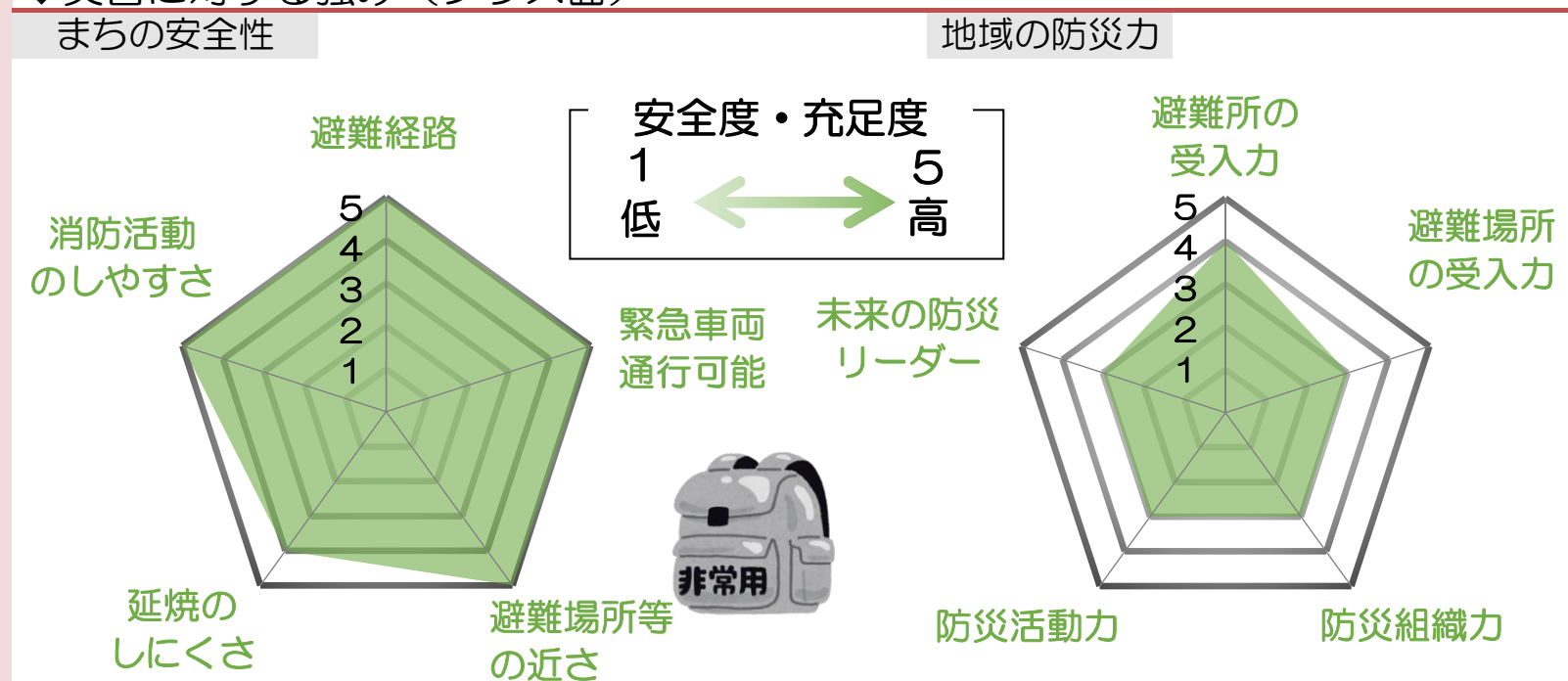
市川市防災カルテ < 福栄小学校区 >

災害に対する弱み（マイナス）については、5に近づくほど危険度が高くなり、災害に対する強み（プラス面）については、5に近づくほど安全度や充足度が高くなります。災害リスクは、後述の地震被害想定や浸水想定の結果、各地区の現況データを用いて相対的に評価しています。

### ◆災害に対する弱み（マイナス面）



### ◆災害に対する強み（プラス面）



### ◆評価

福栄小学校区は、地震災害については、全域で震度6強の揺れが予測され、液状化による危険性が高い傾向にあります。風水害については、江戸川の氾濫による浸水の危険性が高く、高潮による浸水の危険性も高い傾向にあります。  
一方で、まちの安全性については、評価項目について総じて高い傾向にあります。また、地域の防災力については、避難所の受入力は高い傾向にあります。

## （５）防災関連施設

### ◆避難所及び福祉避難所

| 施設名   | 福祉避難所 | 施設名 | 福祉避難所 |
|-------|-------|-----|-------|
| 福栄小学校 | -     |     |       |
| 福栄中学校 | -     |     |       |
|       |       |     |       |
|       |       |     |       |
|       |       |     |       |
|       |       |     |       |
|       |       |     |       |
|       |       |     |       |

### ◆避難場所

| 名称    |
|-------|
| 福栄小学校 |
| 福栄中学校 |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |
|       |

### ◆地区内の主な施設

| 種別               | 施設名 | 施設名 | 種別    | 施設名 |
|------------------|-----|-----|-------|-----|
| 要配慮者利用施設<br>(公設) | なし  |     | 医療救護所 | なし  |
|                  |     |     | 関連施設  | なし  |
|                  |     |     |       |     |
|                  |     |     |       |     |
|                  |     |     |       |     |



## （６）被害想定結果（地震・風水害）

### ◆地震災害（被害を受ける割合）

| 想定項目 |                        | 福栄小学校区 | 市川市全体 |
|------|------------------------|--------|-------|
| 建物被害 | 全壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊） | 2.6%   | 4.8%  |
|      | 半壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊） | 11.4%  | 11.8% |
|      | 焼失棟数の割合                | 3.1%   | 10.2% |
|      | 浸水棟数（津波）の割合            | 0.0%   | 1.1%  |
| 人的被害 | 死者の割合                  | 0.0%   | 0.1%  |
|      | 負傷者の割合                 | 0.2%   | 0.4%  |
|      | 避難者の割合                 | 14.7%  | 20.0% |



### ◆風水害（被害を受ける割合）

| 想定項目 |              | 福栄小学校区 | 市川市全体 |
|------|--------------|--------|-------|
| 建物被害 | 浸水棟数（江戸川）の割合 | 100.0% | 52.9% |
|      | 浸水棟数（真間川）の割合 | 0.0%   | 47.7% |
|      | 浸水棟数（内水）の割合  | 63.4%  | 57.9% |
|      | 浸水棟数（高潮）の割合  | 100.0% | 64.9% |



市全体の結果と比較すると、地震災害については、新耐震基準の建物割合が高く、非木造建物がやや多いことから、全壊の建物被害は少ない傾向となっています。また、人的被害についても、特に避難者が市全体より少なくなっています。

一方で、風水害については、江戸川の氾濫、内水氾濫、高潮の浸水による影響が大きく、市全体と比較して浸水棟数が多くなっています。

## （７）防災上の課題

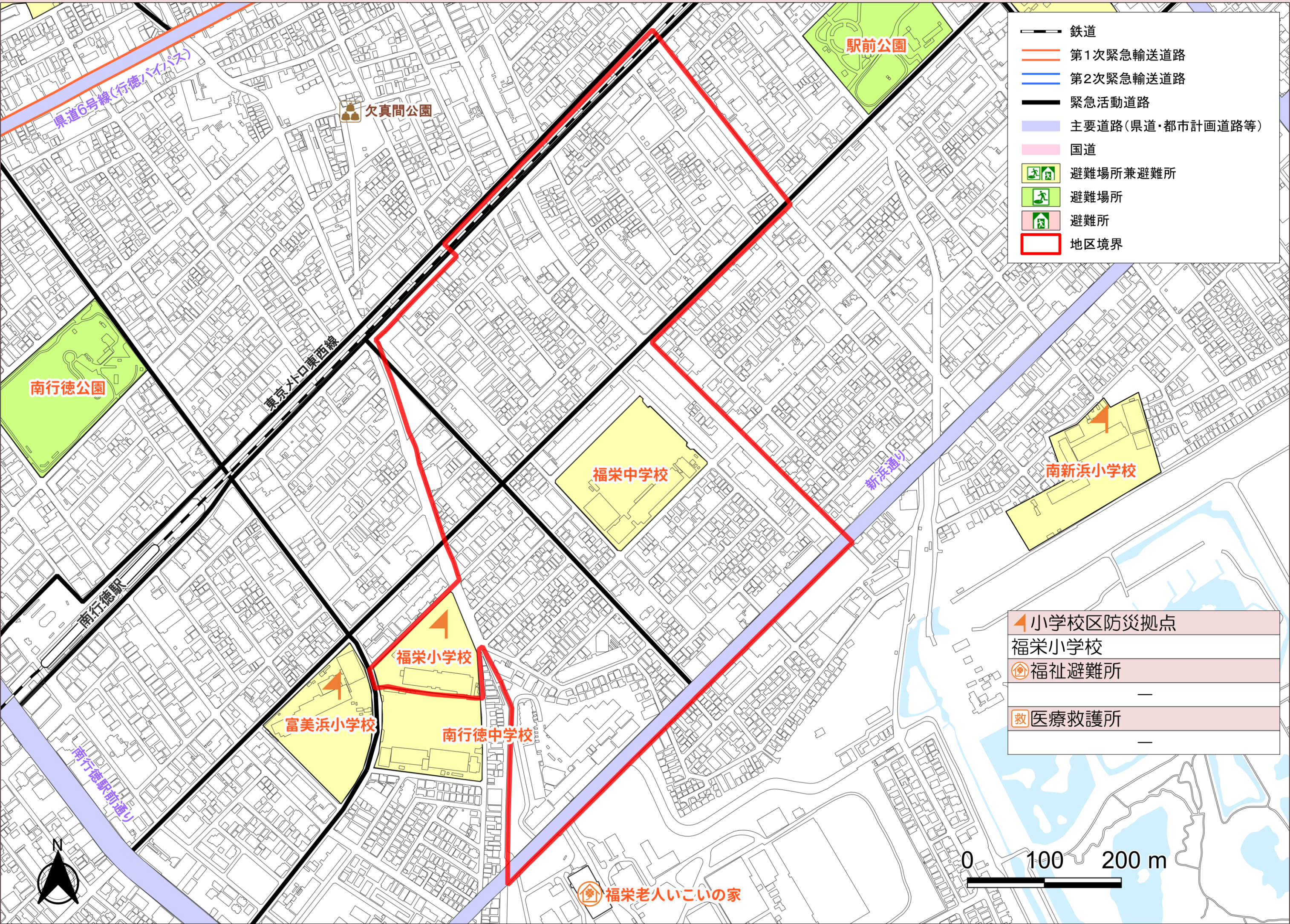
| 項目     | 課題                                                                          |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 地震     | 地区全域において、震度6強の揺れが予測され、液状化の危険性が非常に高く、耐震対策やライフライン途絶に備えた備蓄対策も必要です。             |
| 風水害    | 河川氾濫による浸水被害や内水氾濫の恐れがあり、また、高潮による浸水の恐れがあることから、浸水対策や円滑な避難に備えることが重要です。          |
| まちの安全性 | 地区のまちの安全性に関する評価項目は総じて高い傾向を示しているものの、初期消火の対策が重要です。                            |
| 地域の防災力 | 地区では、地域の防災力が高い傾向を示しているものの、さらに防災組織結成の促進や既存組織での訓練などの取り組み、防災活動に取り組んでいくことが重要です。 |

## （８）防災対策の方向性

| 項目    | 取組の方向性                                                                                                                                                                                                                               |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域の取組 | 消防活動に対する対策として、市が実施する避難訓練や消火訓練等に地域ぐるみで積極的に参加することが重要です。<br>江戸川の氾濫及び高潮による浸水が想定されることから、洪水時と高潮時の避難場所等を確認し、あらかじめ地区の中で情報共有を行うことが重要です。                                                                                                       |
| 個人の取組 | 地震に対する備えとしては、家具の固定、ライフラインの途絶に備えあらかじめ飲料水等の備蓄をしておくなど自宅（家庭）の防災性を向上させることが効果的です。<br>一方、風水害に対する備えとしては、市の助成制度である同じく「あんしん住宅助成」を利用した防水板の設置や、土のうステーション等を活用した浸水対策とともに、いざという時円滑に避難できるよう、市からの情報収集方法や浸水想定区域外の避難場所等をあらかじめ水害ハザードマップ等で確認しておくことが効果的です。 |



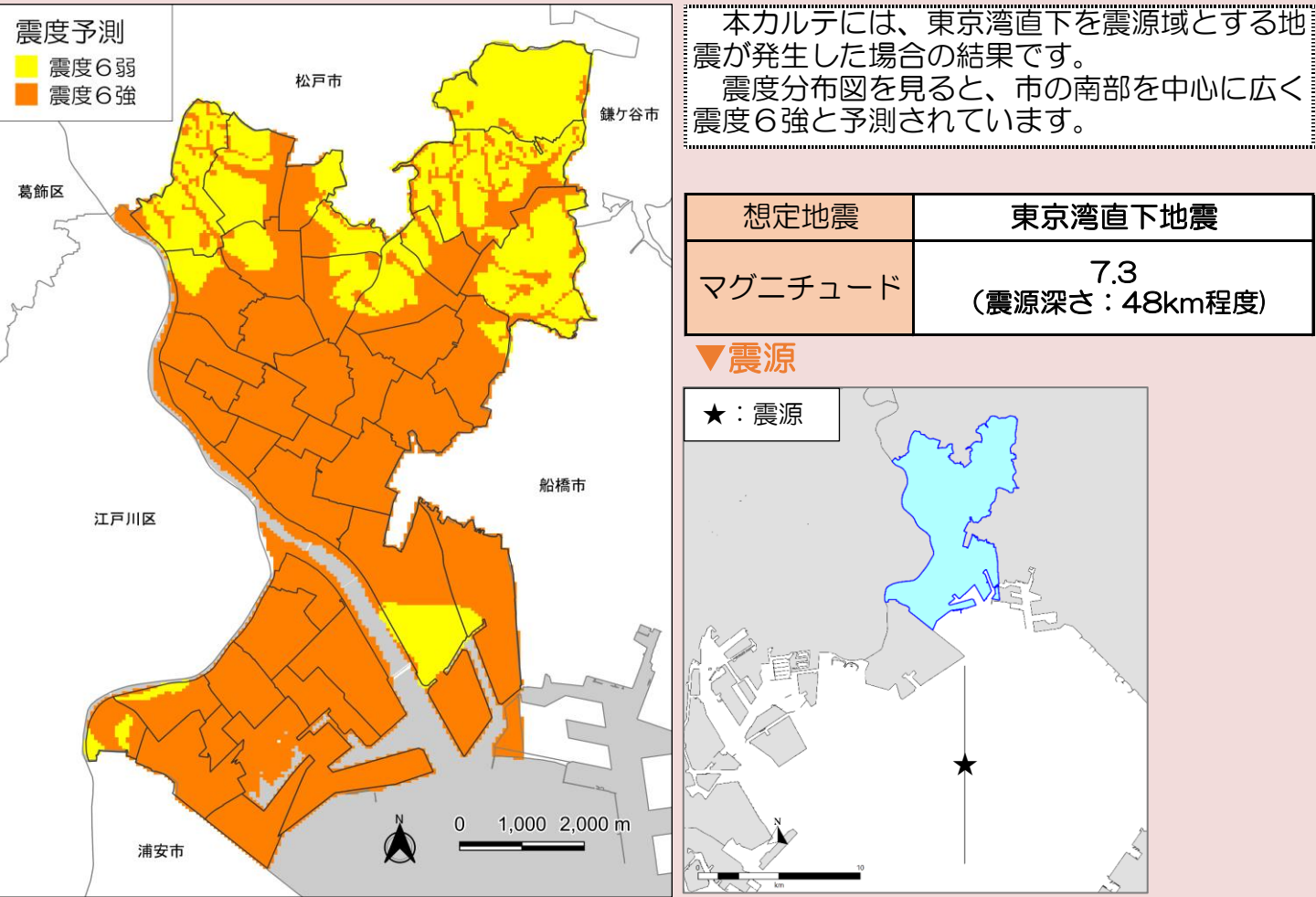
(9) 防災マップ





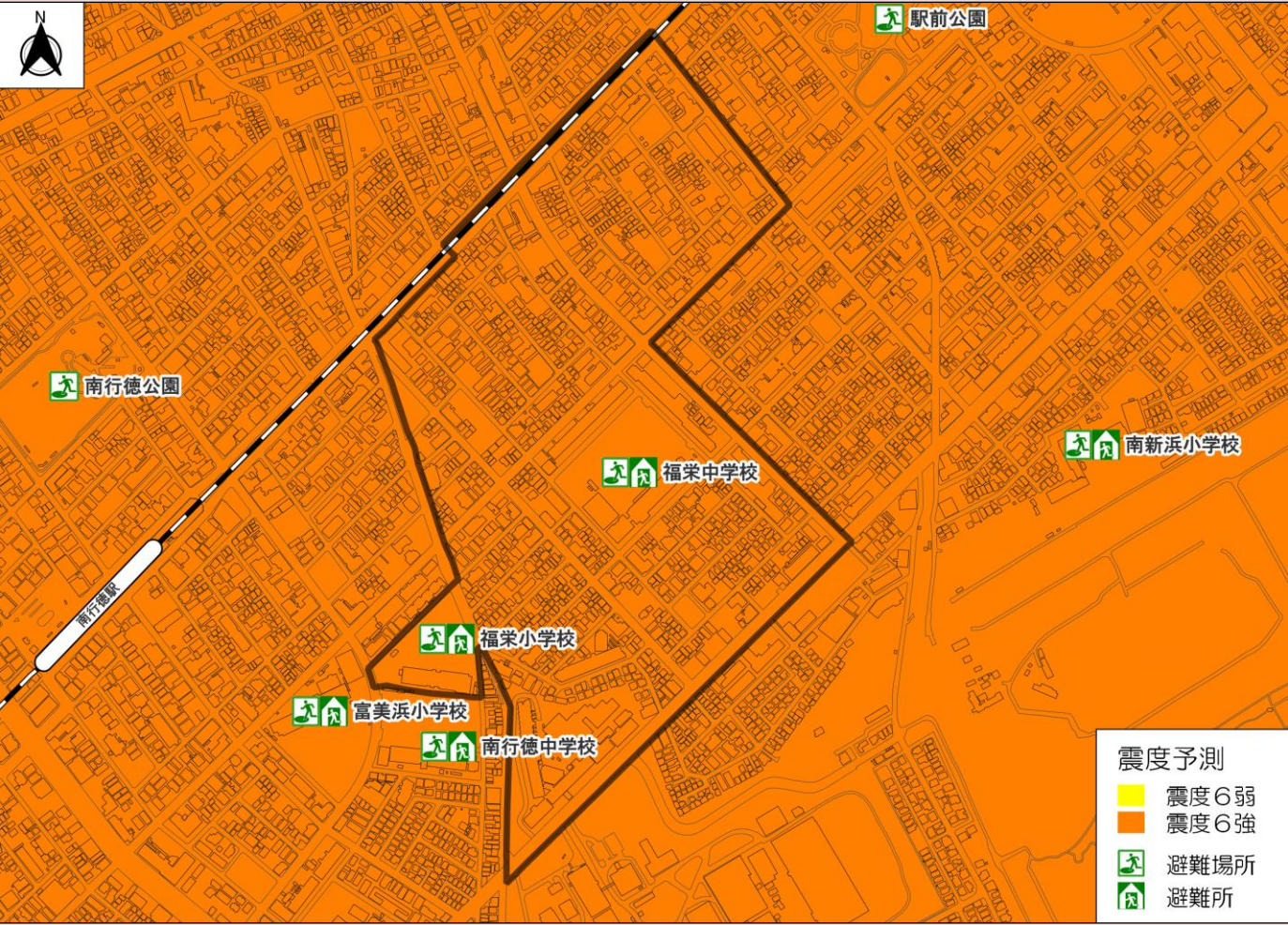
(10) 基礎資料

①市全域の震度分布図

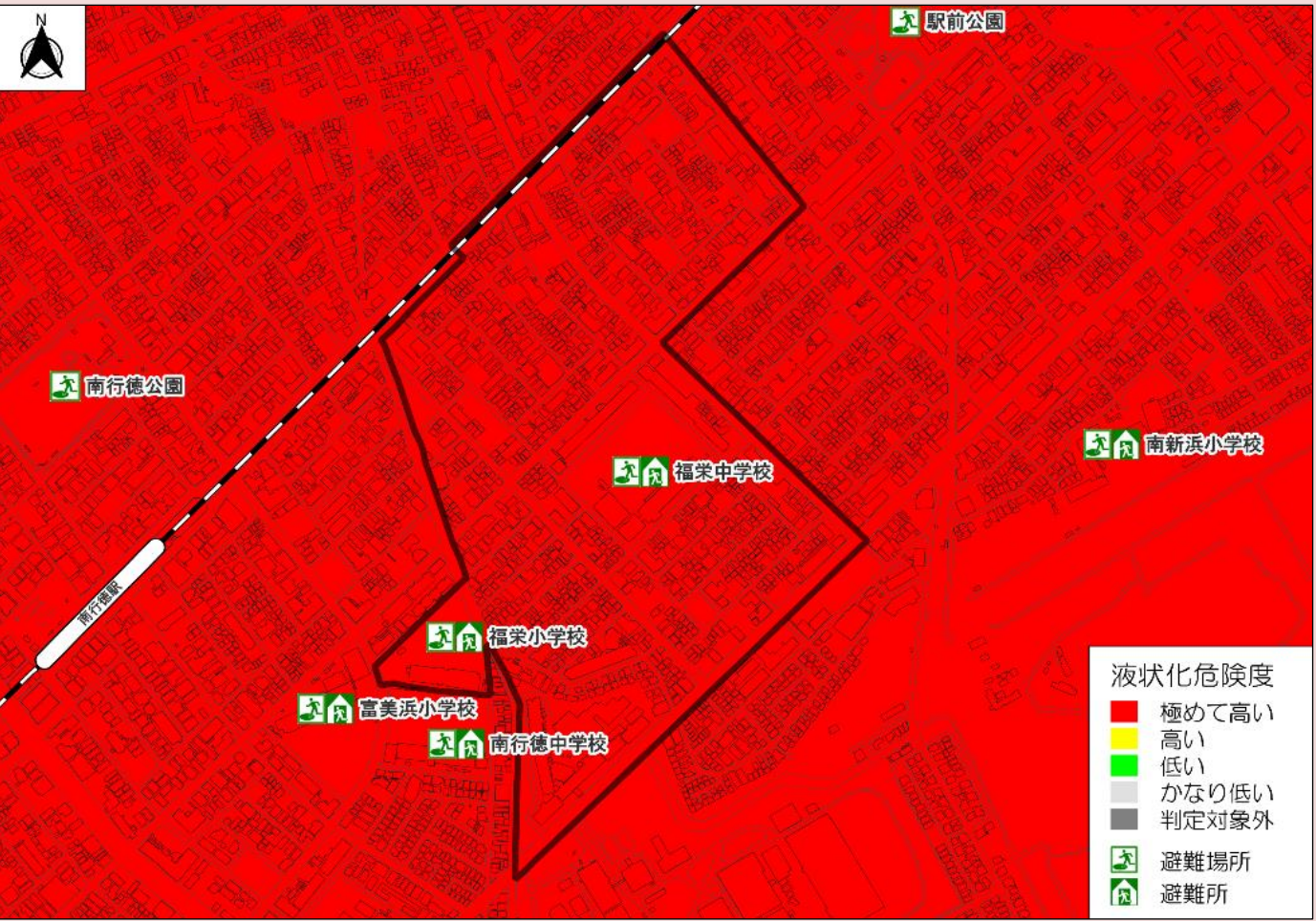


※本結果は市川市地震被害想定結果（令和5年度）に基づいています。

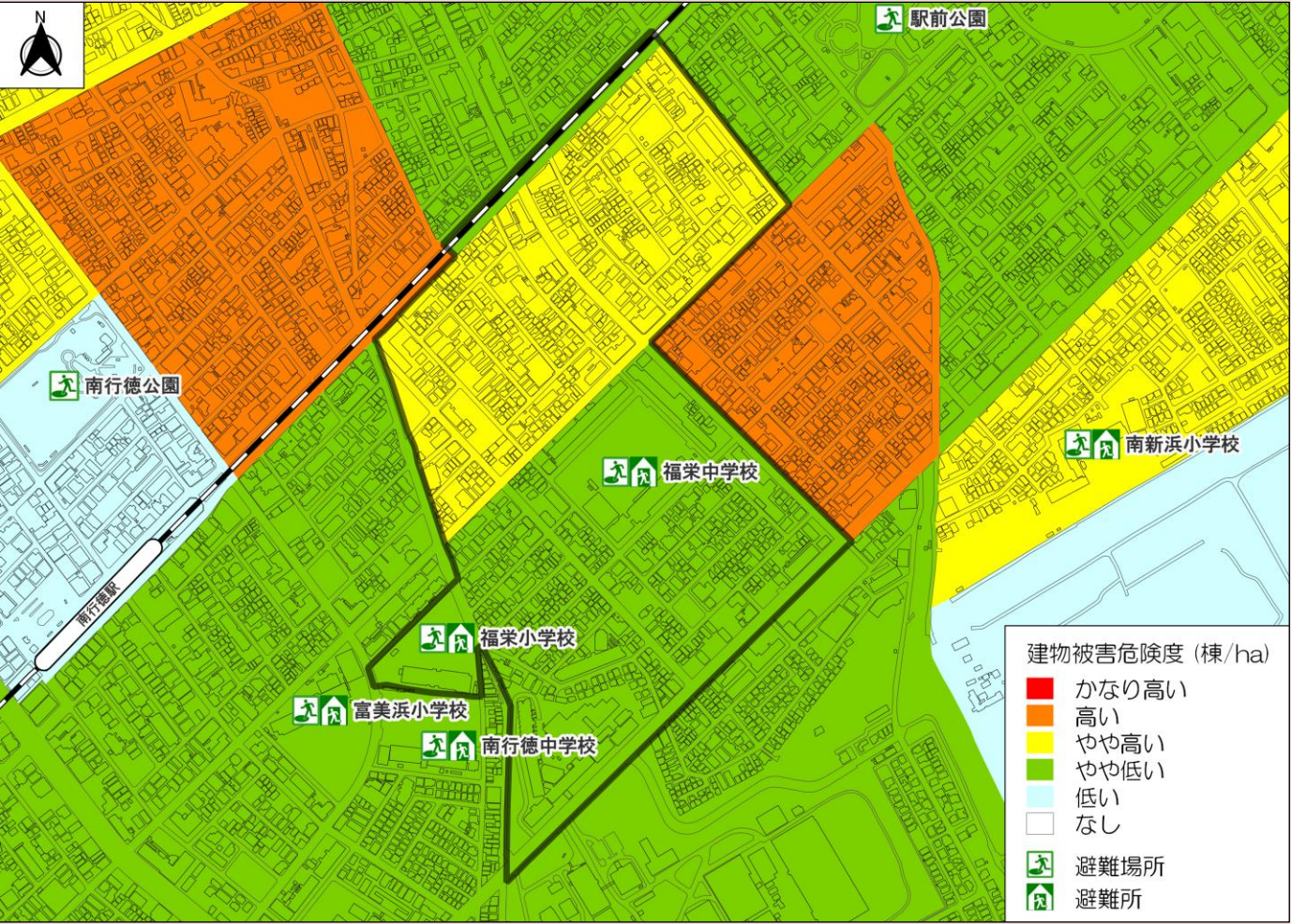
②震度分布図



③液状化危険度

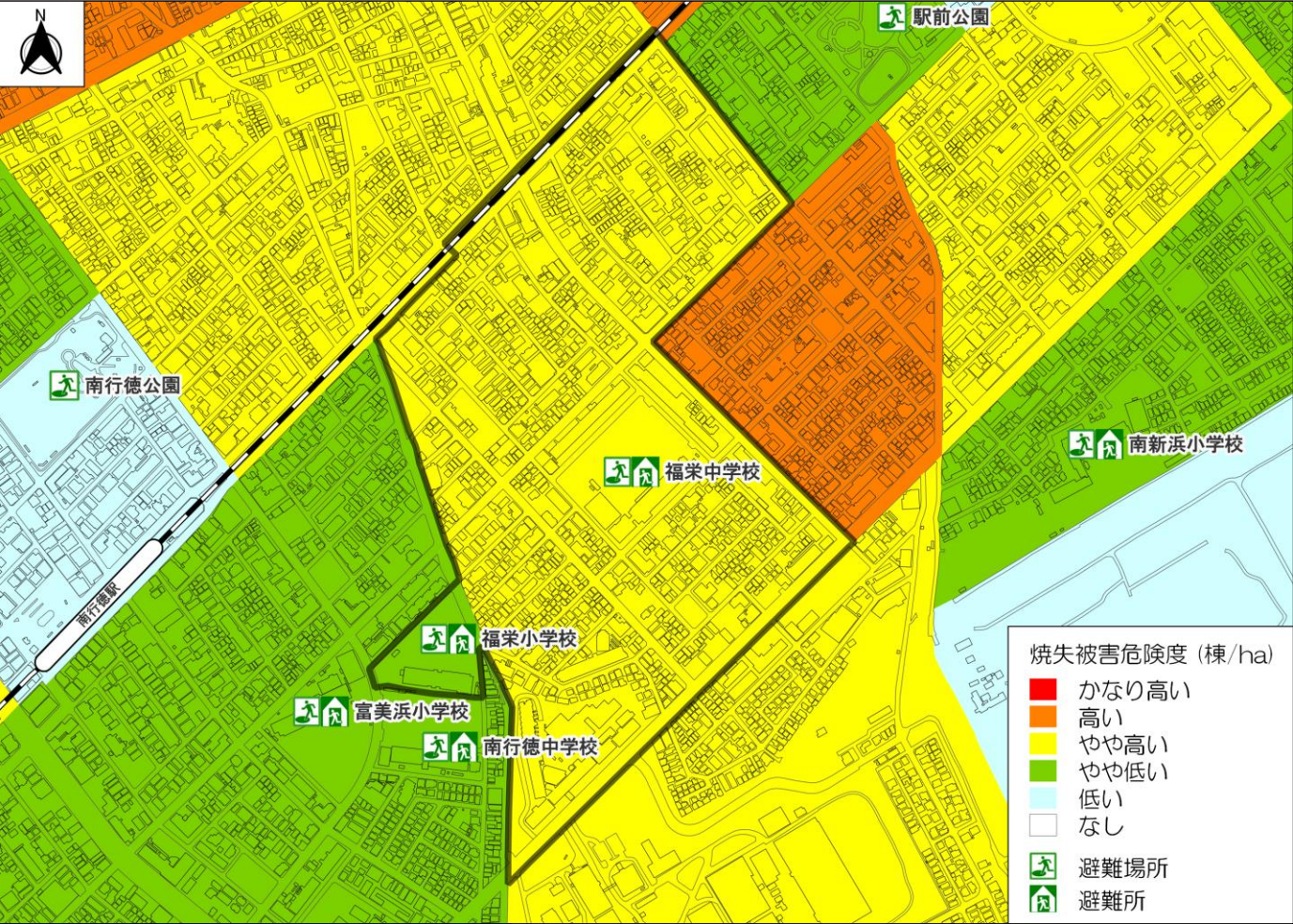


④建物被害（揺れ・液状化による被害）





⑤建物被害（延焼による被害）



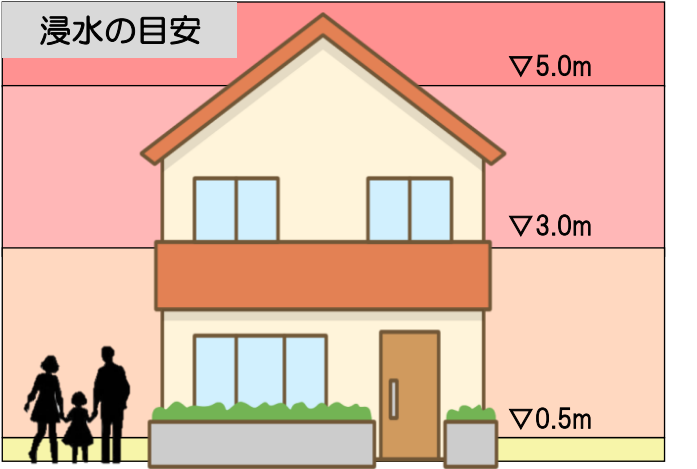
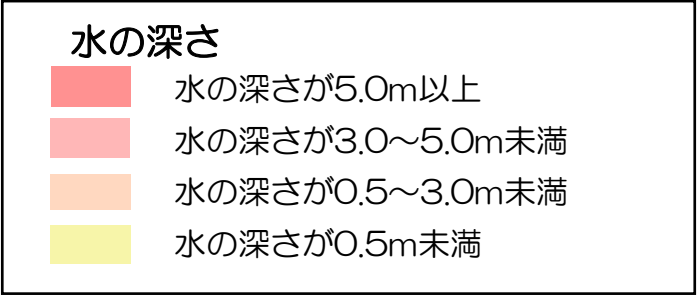
⑦浸水想定の概要

江戸川の氾濫及び真間川の氾濫、内水の氾濫、高潮による浸水想定区域を示しています。

災害時にすばやく避難できるようにあらかじめ浸水想定区域外の避難所及び避難場所について確認しましょう。

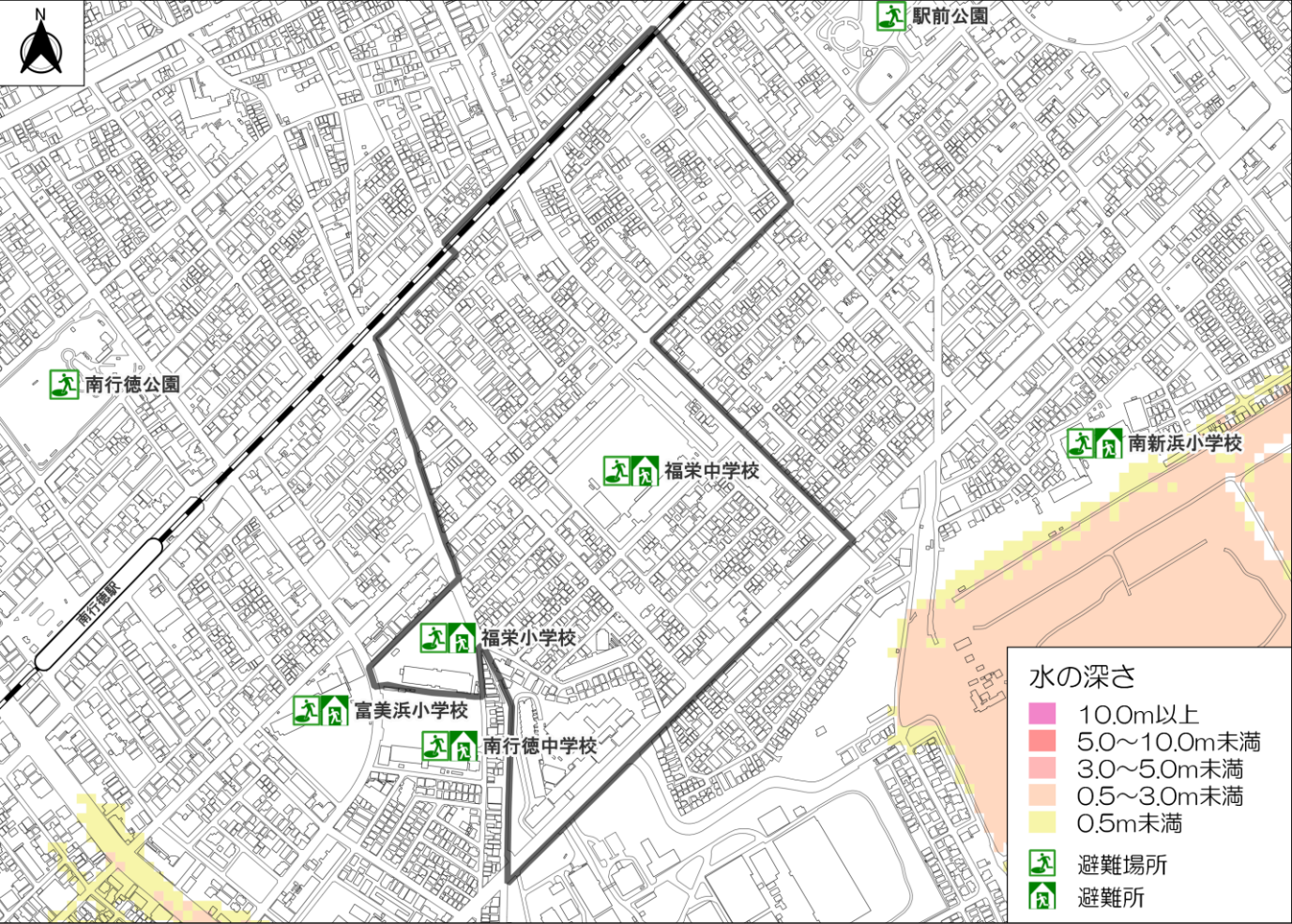
また、避難経路上の浸水状況も確認しておきましょう。

避難にあたっては、市指定の避難所にこだわらず、浸水しない地域の知人宅、職場などに避難することも有効です。



※浸水の凡例区分及び配色については市川市で任意に設定しています。

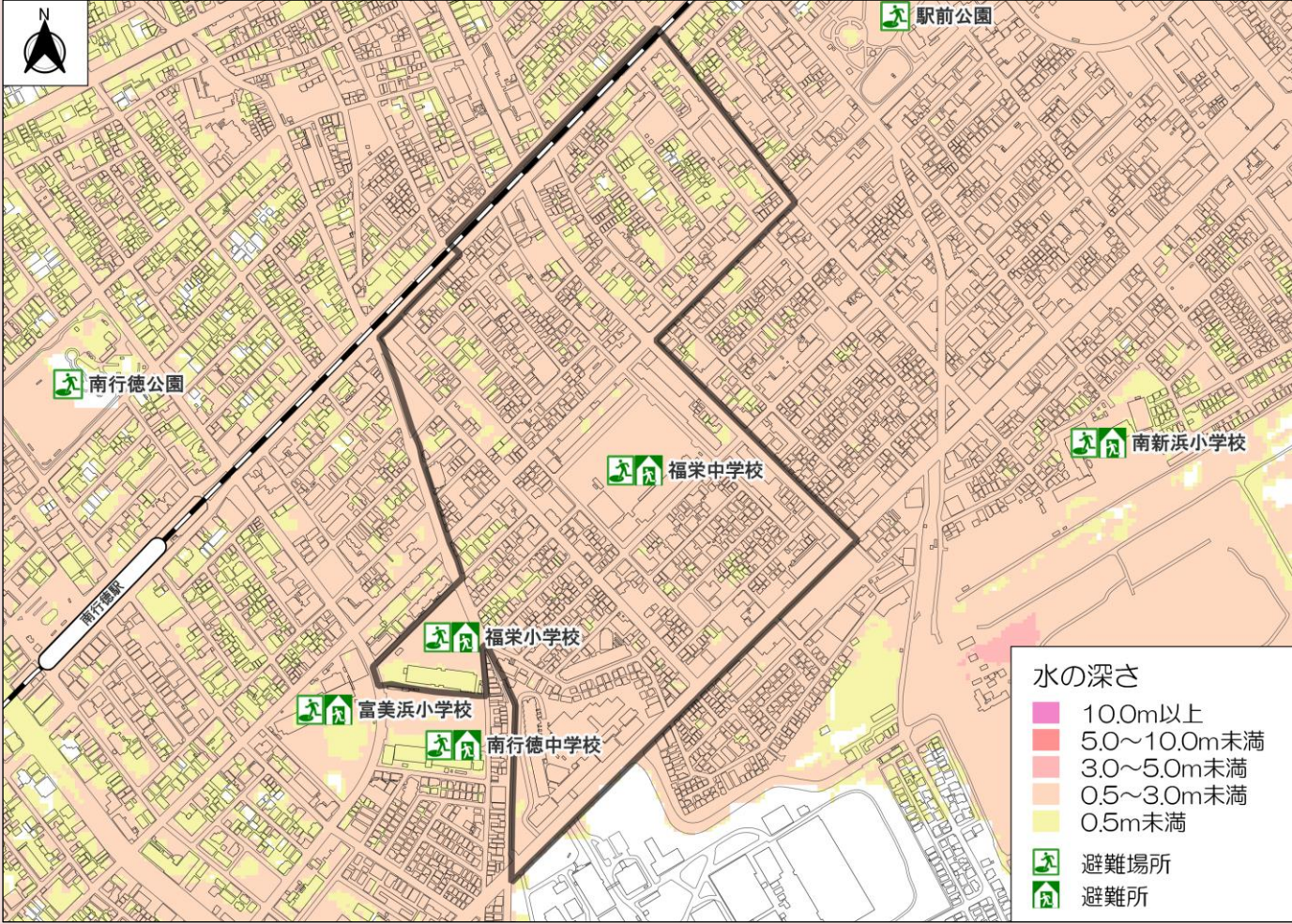
⑥津波による影響



※津波の河川遡上による市街地への影響はありません。

平成24年4月：千葉県

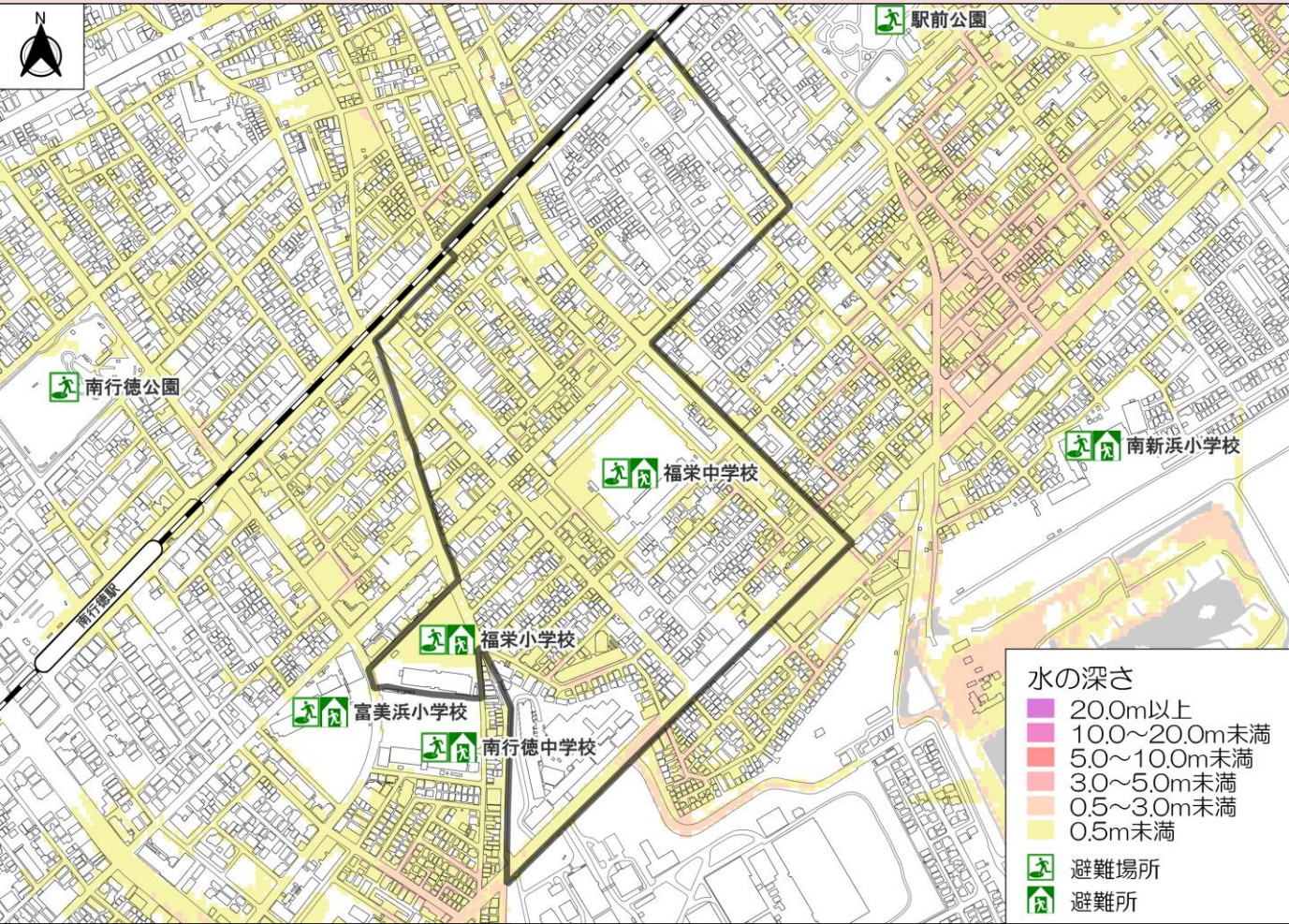
⑧洪水（江戸川）



平成29年7月：国土交通省

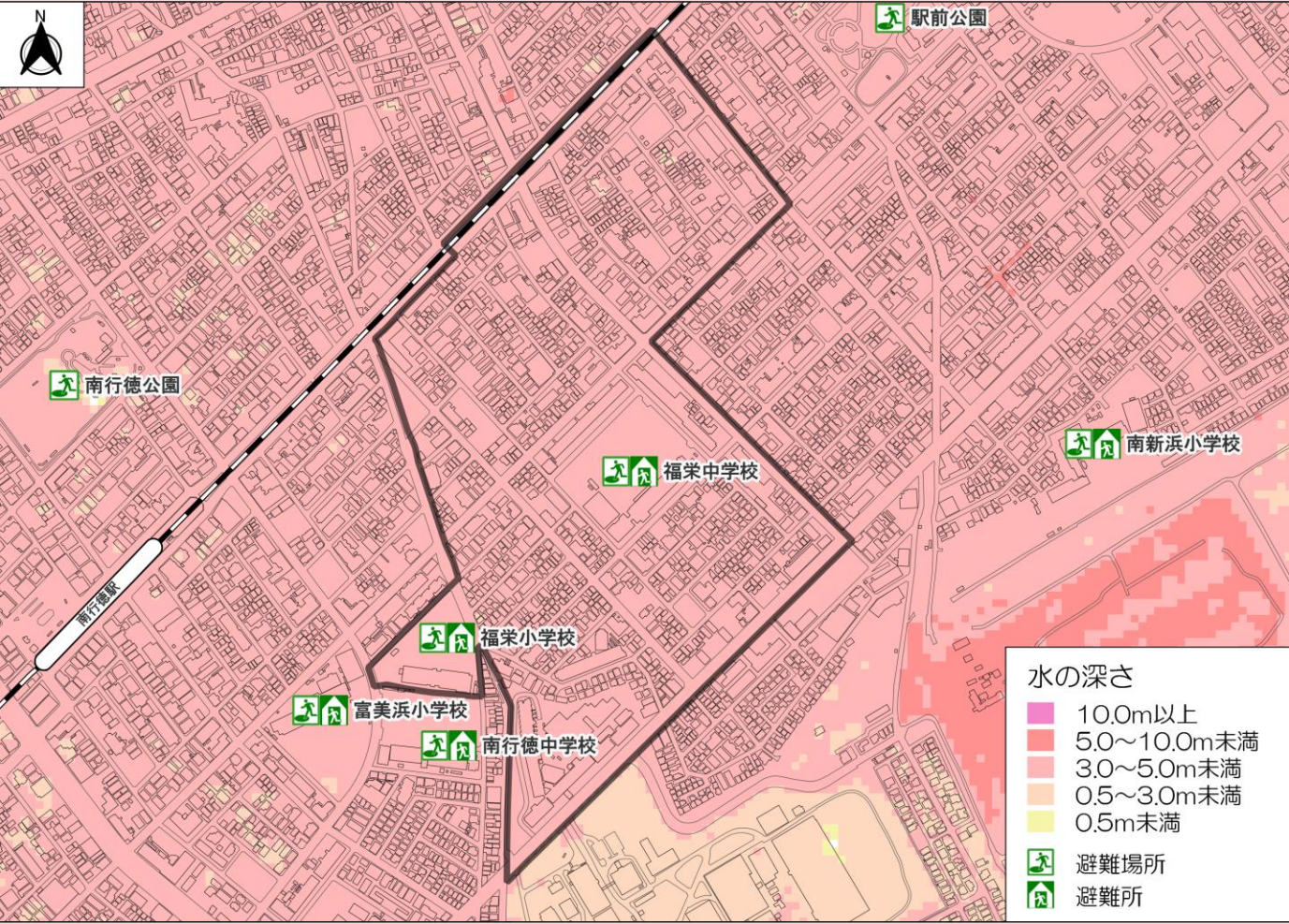


⑨真間川水系・内水氾濫



令和元年：千葉県(真間川水系)、令和2年：市川市(内水氾濫)、令和4年：千葉県(小規模河川)

⑩高潮



平成30年11月：千葉県

◆メモ

